

電気・電子・情報系企画Ⅱ 講演

## 『省エネルギー時代における照明設計の現状と今後の課題』

### 【講演概要】

東日本大震災以降、電力不足対策に伴う節電・省エネに対するニーズから、LED照明など新光源への関心度は急激に高まってきた。日本の総電力消費量の16%が照明用に使用されていることから、照明における省電力・省エネルギーの効果は大きい。

LED照明は、1996年に開発され、照明の歴史上、1810年ガス灯、1879年白熱電球（エジソン）、1938年蛍光灯と新しい光源が世に送り出されてきたことに続く、60年に一度の大革命と位置付けられており、各国の企業がビジネスチャンスとばかりに各種製品を次々と売り出している。平成24年7月1日には電気用品安全法施行令が改正され、LED照明などが新たに規制の対象となり、出回る各種製品に対して国が定める技術基準への適合が求められるようになった。

そのような背景・動向を紹介するとともに、LED照明への置き換え以外の照明省エネルギーの手法、今後の照明環境のありかた、照明設計の課題について講演する。

### 【日 時】

平成24年9月21日（金） 10:50～12:20

### 【場 所】

神奈川県立産業技術短期大学校 会場（1402教室）

### 【講師プロフィール】

株式会社きんでん  
技術企画室東京技術企画部  
CSチーム

課長 高松 篤子 先生

- ・平成16年より職業能力総合開発総合大学校 電気システム工学科非常勤講師  
「照明および配線設計」「電気電子製図」を担当
- ・平成22年より高度ポリテクセンターにおいて部外講師として  
能力開発セミナー「電気設備の省エネ設計技術」を担当